



2025年
12月/Vol.17

Business Solutions NEWS

OA Equipment Sales & System support



↓ 最新情報は
こちらから



Topic サプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度



経済産業省が 2026 年度の運用開始を予定している制度。

企業のセキュリティ対策を「★3～★5」の段階で評価し、どの企業がどの水準の安全性を備えているかを「見える化」する仕組みです。

■ 制度が作られた理由

- ・取引先・下請け・外注先を経由したサイバー攻撃が急増
- ・大企業だけ対策しても意味がなく、サプライチェーン全体の安全性を高める必要があるため

■ 何が変わる？

発注側企業が、取引先に対し「★3 以上を求める」可能性が高まる。

中小企業でも“最低限のセキュリティ対策を証明する”時代になる。



評価段階	位置づけ	要求される主な対策レベル（例）	対象企業イメージ
★3（基礎レベル） 広く認知されたぜい弱性等を悪用する一般的なサイバー攻撃	すべての企業が満たすべき最低ライン	・情報資産管理の実施 ・ウイルス対策／パッチ適用 ・パスワード・アクセス権管理 ・PC／デバイスの暗号化 ・廃棄ルール（データ消去）を明文化	一般的な中小企業・協会社・個人事業主
★4（強化レベル） 供給停止等によりサプライチェーンに大影響をもたらす企業への攻撃等	取引先管理や運用体制を重視する段階	・セキュリティ方針の明文化と社内浸透 ・ログ管理・監査体制の整備 ・委託先のセキュリティ管理 ・インシデント対応手順の整備 ・MFA（二段階認証）導入	発注側企業、中規模企業、多重下請構造を持つ企業
★5（高度レベル） 未知の攻撃も含めた、高度なサイバー攻撃	重要インフラ並の最高水準	・SOC/EDR 等の高度監視体制 ・ゼロトラストを想定したアクセス設計 ・高度脅威（標的型攻撃）への備え ・サプライチェーン全体の継続的監査	大企業、インフラ系、政府関連・研究機関

● サポートサービスについて



受注企業	発注企業
課題 複数の取引先ごとに異なる対策要求への対応負担	取引先の対策状況が不透明 把握にコストや手間がかかる
効果 実施すべき対策が明確になる 費用や効果の可視化 セキュリティ対策の説明が容易になる 取引継続・選ばれる企業につながる	取引先の実施状況を容易かつ適切に把握できる 自社のセキュリティリスクを低減 要求事項と実施状況の管理が効率化 セキュリティ対策の説明が容易

● セキュリティ対策評価制度 申請支援サービス

制度開始と同時に評価を公表できるよう、★3 取得をサポートします。

- ・セキュリティ方針策定
- ・社内ルール整備
- ・定期棚卸しによる体制強化
- ・有資格者による評価提出支援

企業価値向上と競争力強化を支援します。

詳しくは...



● セキュリティ訓練サービス

実際の攻撃を模した訓練メールを用い、社員が標的型攻撃メールへの対応を体験的に学ぶサービスです。訓練後は e ラーニング による教育を実施します。

○ 複合機～PC 機種選択、アフターフォロー・定期メンテナンス・ドライバー等 各種設定はお任せください。
○ 事務所開設、引っ越し・移転、他事務用什器等も取り扱っております。



ミノックス株式会社 ビジネスソリューション部

担当: 倉本

Tel: 06-6231-2007 (代) FAX: 06-6231-2326

本社: 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋1-6-10 豊田日生北浜ビル
東京支店: 〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-9-2 ICSTビル